



2005・10

NO. 1 2

# LETTER

## 目 次

- ◆ 京都ライオンズクラブ50周年記念事業  
「おおみやおひさま発電プロジェクト 現在進行中」 (清水玄太) . . . . . 2
- ◆ 生活を見直す意識づくりの夏祭り  
大宮保育所夏祭りに参加して (掃部和代) . . . . . 2
- ◆ 報告・交流会〈保育現場での「環境教育」〉から (大西啓子) . . . . . 3
- ◆ 「太陽光発電とオール電化」 (林 敏秋) . . . . . 4
- ◆ あけぼの保育園夏祭りに参加して (前田昌宏) . . . . . 5
- ◆ 陵ヶ岡保育園・環境セミナー (龍池妃都美) . . . . . 5



特定非営利活動法人  
きょうとグリーンファンド



おおみやおひさま発電プロジェクト 現在進行中!

清水 玄太 (コーディネーター)

京都ライオンズクラブ 50 周年記念事業の一環として助成を受け、取り組んできたおひさま発電所の設置事業もすでに 3 基が設置されました。残り 1 つの助成では、今年度京都市北区の大宮保育所におひさま発電所が設置されることになりました。

大宮保育所は、今年で 33 年目を迎える保育所です。自然に恵まれたのどかな環境の中で、動物や植物の命を大切に作る元気な子どもに育つことを願って保育を展開されています。

今回設置する太陽光発電設備は 10kW 規模で、保育所の屋上にパネルが並ぶこととなります。おひさま発電所の設置が決まってからは、保育所のスタッフや保護者を対象にした温暖化問題や省エネ、自然エネルギー、ごみ問題などの環境セミナーを実施しました。また、子どもを対象にした腹話術による

環境学習会も別途行っています。さらに、リユースビンやリサイクル食器の導入などエコロジーの視点を取り入れた夏祭りも実施してきました。夏祭りでは、保育所のスタッフの方々が環境セミナーで勉強されたことをまとめた展示パネルも設置されています。

発電量を示す表示盤や、寄付して下さった方へのお礼カードのデザインも順調に仕上がっていて、参加のよびかけも開始しました。保育所の所長さんをはじめ、スタッフの方々のこの取り組みに対する熱心さには圧倒されることもあり、こちらも楽しく設置のお手伝いをしています。

点灯式は 2006 年 1 月 14 日を予定しています。大宮保育所におひさま発電所ができるよう、ご支援をよろしくお願いいたします。

= 生活を見直す

意識づくりの夏祭り=



園庭では食べ物コーナーや、ゲームコーナー、お楽しみコーナーなどの設置は勿論ですが、手回しのラジオやおもちゃ、風で動くおもちゃなどのコーナー、そして太陽光発電による噴水が設置されていました。子ども達は電池やスイッチでなく自分の力や、自然のエネルギーで動くおもちゃが新鮮だったようで、子どもは勿論大人も、手に触れて遊んでいました。私も列に並んで、童心にかえって楽しみました。また、大人には、エコ家計診断コーナーも設置されていました。

日ごろの節電やエネルギー節約の生活態度、料理の段取りの良し悪しなどが診断され、省エネに対する関心度や生活ぶりが数値とグラフで表示され、大変説得力をもった資料になりました。また、展示パネルでは、いつでも質問に答えられるようにスタッフがついていました。リースの食器やリユースビンでのゴミ減量などもとられていました。環境、エネルギー問題の視点から、生活を見直しそして生活の楽しみ方を、考える環境が設定されていました。

押しつけでなく、自ら気がつき生活を変える主体づくりを、目指しておられる姿勢を感じました。

～～ 大宮保育所夏祭りに参加して ～～

掃部 和代



《太陽の力による噴水に高い関心が》





### 陵ヶ岡保育園 (2004年12月4日点灯式)

- ・ やっと、おひさま発電所が園になじんできたように思います。
- ・ 前園長であった父が農地を提供して作った保育園に、小川を流したいと井戸を掘ったのですが、赤い水しか出てこなかったのが断念したということがありました。以前から生ごみは堆肥化し、畑に帰しています。当園では自然の恵みに感謝する気持ちを育むためにいちご、じゃがいも、たまねぎ、かぼちゃなどさまざまな作物を栽培しています。2005年6月の収穫祭には雨水を利用する「雨水タンク」を2つ設置、早速花の水遣りなどに使っています。
- ・ 卒園生のお母さんからの手紙に、「電気がこんなに大事なんだということ子どもから聞いて身が引き締まりました」とありました。自分たちにとっておひさま発電所とはなんだったのかを考えたい。そのときだけの取り組みに終わらせないで、贅沢をしない生活をどうすれば子どもたちに伝えられるかが課題だと思います。子どもたちにどんな社会を手渡すことができるのかを皆で考えたい、頑張りたいと思っています。

### 春日野園 (2005年1月15日点灯式)

- ・ おひさま発電所を設置しようと決めたとき、まずスタッフを対象にした学習会を開催。1回目のときは何のこと・・・、ぼかんという感じでしたが、2回目には聞いてからは、何をしたらいいのか、もっと節電しなくては・・・、なるべく車に乗らないほうがいいかも・・・とだんだん自分たちで考えられるようになりました。このことを地域の人や保護者にどう伝えたらいいか考えた末、展示パネルをつくり子どもの写真を貼ってこまめに取り替えたり、表示盤のデザインコンペをして関心を持ってもらえるよう工夫をしました。まさに1年間を通して「おひさま」をテーマにした保育活動となり、ピロティにある表示盤前は、人が集まる場所となっています。
- ・ これからは、園児・保護者・地域の人に対して環境情報の発信拠点になっていかねばと思っています。

少しずつですが、今年の今頃よりは一歩進んだような気はしています。

### 紫野保育園

(園庭・屋上に2つのビオトープをつくりました。)

- ・ 乳幼児期自然環境とどうかかわって過ごすか、は成長していくうえで大切なことと考えています。
- ・ ビオトープ作りはまず、子ども・保護者を対象に環境・ごみ・生態系などのテーマで事前学習会を開催。作業は園児・保護者・卒園児・ボランティアで池作りから始めて水際にも草を植え、めだかやもろこを放し、丸太の橋も作りました。子どもはよく前髪がぬれるのもかまわず池(風呂桶)を覗いていますし、よく橋から落ちたりしますが、それも経験と思っています。
- ・ 屋上テラスは虫や蝶がくる木を植えたバタフライガーデン。ハーブも植えました。自然に対する関心が高まって外へ出かける回数が増えたり、鉄の遊具は木の遊具へ、食べられる木の実からクッキング、「ビオトープだより」も発行と活動が広がってきました。ビオトープは維持が大変な面もありますが、日に日に変化し10年後にはどんなになっているか予想もできないのは、楽しみでもあります。ビオトープは、自然といっしょにどんどん動いていくものですね。

あけぼの保育園(2002年2月11日点灯式。発信拠点としても1歩先を行っています。)

- ・ 子どもたちは電気について関心を持っており、家でも要らない電気は消そうとするとか。4年たっても興味を失うことはありません。環境に配慮した行動は子どもから大人へ伝わると大変効果的です。ごみ分別も「めんどくさい」でなく自然にできるようになり、1年目1/3に減少してからさらに減っています。雨水タンクを設置してからは水道の出しっぱなしがなくなり、外の流しに砂が詰まったりすることもなくなりました。隣接しているケアハウスにも雨水タンクを設置して、花の水遣りなどに利用しており、花の色もきれいなようです。雨水をとっても大切にし、お天気のよい日も雨の日も喜ぶ日々となりました。



# 太陽光発電とオール電化

林 敏 秋 (ワーカーズコープ エコテック)

## 電気は大変高級なエネルギー

太陽光発電は相変わらず好調な販売成績らしい。その殆どは訪問販売で、オール電化機器の付属品の扱いで販売されているようだ。電力会社が旗を振って、ハウスメーカー、工務店、電気機器販売業者、太陽光発電設置業者すべてがオール電化を推進し、太陽光発電の普及に「貢献」している。

「クリーン」、「安全」、「安い」の謳い文句の元に消費者は、このオール電化ブームに何の疑いもなく迎合している。本当にクリーンで安全なのか。冷静に考えてみる必要がある。そもそも電気というエネルギーは、大変高級なエネルギー源である。原子力発電や火力発電を例にとって考えてみると、100のエネルギーを投入して、電気になるのはせいぜい35~40%である。じゃ、残りのエネルギーはどこへ行っているのかというと、送電ロスが5%程度あるが、ほとんどは発電時に排熱として大気中に放熱しているのである。

原発の近海の魚が異常に大きいという話は有名である。これは原発の温排水が影響しているらしい。私達は、オール電化住宅にすんでクリーンでエコロジーだと思込まされているが、何とおめでたいことか。発電している元までは誰も想像しないのである。

## オール電化推奨のからくり

では、エネルギーの浪費ともいえるオール電化を何故、電力会社は推進するのか。誰でも抱くもつともな疑問である。それは電気が余っているからだ。この言い方は少し乱暴だ。電気の需要と供給にアンバランスがあるからだという方が正確だ。つまり電気の需要には大きな波がある。昼間と夜間、夏期と冬期で使う量がかなり違う。だが電力会社は電気事業

法で需要があれば供給しなければならないと義務づけられている。そのために最大需要電力量（ピーク）を確保しておく必要がある。

だが、使わないときにはいらぬ発電機は止めておけばうまく調整できるのではないかと誰もが考える。しかし、現在日本の発電電力量の34%は原発である。原発は出力調整が簡単にはできない。日本の電気の需要のピークとボトムの違いはかなり大きい。ボトムの需要がピーク時の45%になることもある。電力会社はいろいろ工夫して出力調整しているが、出力調整が困難な原発がベース電源となっているため夜間などはかなり電力が余る。さらにやっかいなことには余った電気はどこかへ捨てることができないのだ。揚水発電所などという形で貯めたりしているが、焼け石に水だ。結局、一般市民に無理矢理使ってもらうしかなくなる。時間帯別料金や「はぴeプラン」など優遇策をとって「どんどん電気を使え」という形になる。オール電化が推進される所以である。

## 将来世代を視野に入れた

### エネルギー源の選択を

私はガス会社の回し者ではないが、エネルギー多角化の時代にあえて電気のみでエネルギーを統一しようという考えには同調できない。時代遅れの技術となった原発が日本でも遠くない将来に全廃されると思うが、その時オール電化住宅が過去の遺物として冷ややかにみられる時代がやってくるかもしれない。

もし、これからオール電化を導入しようとしている方がおられるとしたら、是非お考えいただきたい。目先のことに目を奪われずに、想像力を働かせ、将来世代のことを考えてエネルギーの消費を实践されることを。



## あけぼの保育園夏祭りに参加して

前田 昌宏 (立命館大学4回生)

7月の下旬、おひさま発電所が設置されているあけぼの保育園の夏祭りを見に行きました。この保育園の夏祭りは参加されている人たちも多く、立派なステージが設置されているなど規模が非常に大きなもので、大変驚きました。

ここの夏祭りは毎年行われているようですが、祭りの内容が年を数えるごとに環境問題に対して深い取り組みを行うように変化をしているそうです。例えば、今年度は京のアジェンダ 21 フォーラム・エコ祭りワーキンググループよりリターナブルのコップとお皿を借り、それを祭りの間中使ってもらおうという画期的なことを実施されていました。リターナブルの食器は回収場所へ自ら返却するシステムになっているのですが、回収場所には常にボランティアの大学生や保育士さんがいて、小さな子どもに対しても「ちゃんとビンを手洗いでゆすいでや〜。」と自らビンを手洗いするように促しています。どの子どもたちも素直に洗っており、小さい頃からこういう体験しておくことは大変有意義だと感じました。また、昨年まではゴミ箱の設置も普通に行われていたのですが、今年からは食器回収場所に1箇所設け

ているのみで、保育園の中でもかなり環境問題への関心が強いお祭りといっていいいでしょう。

あけぼの保育園のおひさま発電所は2002年に設置されていますが、設置を経た今もセミナーは継続的に続いており、保育士さんの省エネの取り組み・環境に対する取り組みはさらに拡大していています。今回の夏祭りを見ることで、あけぼの保育園で毎日行われていることの片鱗が見えたように思います。以前はごみの分別も思ったようにはかどらなかったようなのですが、今回の夏祭りを見てみると多くの参加者がルールを守れるようになっているように感じました。ここでの夏祭りは地域に開かれたものですから、地域の人もこの夏祭りから学び取っており、おひさま発電所設置の効果があけぼの保育園を起点にして地域にも拡大しているのです。

このようにおひさま発電所に関わった人たちが様々に影響を受け、変わっていくのを見られることは非常に感慨深いものがあります。私も今後もおひさま発電所に関するセミナーをはじめ、色々な活動に参加していきたいと思いました。

### 陵ヶ岡保育園・環境セミナー

龍池 妃都美

環境への取り組みの一環として昨年12月におひさま発電所が設置された陵ヶ岡保育園では、今年度も引き続き環境学習の取り組みが行われています。おひさまに続き、今年度は雨水利用がテーマで、セミナーの中で実際に雨水タンクを設置しました。

雨水についての興味深いお話しの後、保育園スタッフ、保護者、園児参加のもと、雨水タンク(200ℓドラム缶)と雨どいを繋ぐ作業が始まりました。接続部分の雨どいのカットはお父さんの担当です。皆に注目される中、子ども達の声援を受けてお父さんも大張り切り、ノコギリの音も軽やかにアツという間に雨どいが切断されました。続いてその部分に取水のつなぎ手を取り付けられると、タンクと雨どいが繋がり設置作業が完了です。ちょっと邪道ですが今回に限り、雨水の代わりに水道水を屋根から流してもらいタンクに水を溜めました。これとは別に事前に設置してもらっていたタンクの方は、前夜からの大雨で貯水状態は良好。雨水タンクのコックをひねると雨水が出てきます。子ども達は2つのタンクそれぞれに分かれてジョウロに雨水を汲み、花壇の水やりを楽しみました。雨は一般に嫌がられることのほうが多いのですが、この日参加されたみなさんの雨に対する気持ちが少し変わったのではと思います。

「お水もったいないなあ」という声が聞こえてきそうです。



## □きょうとグリーンファンドのメンバーになるには？

■会員は、会費をおさめ会の運営を支援します。「NPO 法人社員」にあたります。

■賛助会員は、ファンド(基金)への寄付のみの参加です。

I. まず、会員か賛助会員かをお選びください。(入会申し込み書は事務局まで)

会員	10000 円/年	催し物のご案内、会報(年2回程度)をお送りします。 ※会員は「NPO 法人社員」として会の運営に参加することができます。
法人・団体会員	10000 円/年	催し物のご案内、会報(年2回程度)をお送りします。
賛助会員	6000 円/年	催し物のご案内、会報(年2回程度)をお送りします。

II. 次に、払込みの方法をお選びください。

郵便振替 (年払い)	☆下の口座に直接振り込んでください。年1回 [郵便振替口座 00930-6-157817 きょうとグリーンファンド]
郵便局からの 自動払い (年払い)	◆ 会員…年1回 10000 円(入会月)が引き落とされます。 ◆ 法人・団体会員…年1回 10000 円(入会月)が引き落とされます ◆ 賛助会員…年1回 6000 円(入会月)が引き落とされます
郵便局からの 自動払い (月払い)	◆ 会員…年1回 4500 円(入会月)と、月々500 円が引き落とされます。 ◆ 賛助会員…月々500 円が引き落とされます。

★ろうきん口座からの自動払いの方法もあります。この場合手数料はかかりません。詳しくは事務局にお問い合わせください。

### < 2005 ぐりふあん日誌 >

- |                                  |                                 |
|----------------------------------|---------------------------------|
| 4/19 事務局会議                       | 7/28 事務局会議                      |
| 4/20 光が丘幼稚園                      | 8/2 自然エネルギーWG 研究会 (佐川急便)        |
| 4/25 自然エネルギーWG                   | 8/4 自然エネルギーサポートチーム打ち合わせ         |
| 4/27 第42回理事会                     | 8/5 第44回理事会                     |
| 5/2,5/6 自然幼稚園と面談                 | 8/7 NPO・市民活動見本市出展/京都市市民活動総合センター |
| 5/7 大宮保育所セミナー                    | 8/26 事務局会議、業者選定委員会              |
| 5/10 NEDO申請                      | 8/27 陵ヶ岡保育園 エコ夏祭り               |
| 5/14 2005 総会、活動交流会開催:京エコロジーセンター  | 8/30 大宮保育所太陽光発電設備工事契約           |
| 5/20 陵ヶ岡保育園セミナー「雨水の利用ほか」         | 8/31 自然エネルギーWG オムロン訪問           |
| 5/24 自然エネルギーWG                   | 9/6 大宮保育所打ち合わせ                  |
| 5/29 エコ城陽総会で講演:清仁保育園             | 9/14 自然エネルギーWG ミーティング           |
| 5/4 NPO講座受講                      | 9/15 夢窓幼稚園打ち合わせ                 |
| 6/6 環境省地域環境保全功労者として、環境大臣より表彰される。 | 9/27 事務局会議                      |
| 6/14 大宮保育所セミナー                   | 9/4 あげぼの保育園打ち合わせ                |
| 6/22 陵ヶ岡保育園、雨水タンク設置ワークショップ       | 10/3 自然エネルギーWG ローム訪問            |
| 6/28 佐川急便訪問                      | 10/5 業者選定委員会 ・第45回理事会           |
| 6/29 事務局会議                       | 10/15 ラジオカフェ、ゲスト出演              |
| 7/2 見学会 (大阪経済大学):森のセンター、清仁・清心保育園 |                                 |
| 7/5 あげぼのセミナー                     |                                 |
| 7/6 第43回理事会                      |                                 |
| 7/13 春日野園セミナー                    |                                 |
| 7/14 大宮保育所との打ち合わせ                |                                 |
| 7/16 あげぼの保育園夏祭り                  |                                 |
| 7/19 NEDO 採択者説明会                 |                                 |
| 7/22 自然エネルギーWG                   |                                 |
| 7/23 大宮保育所夏祭りデモンストレーション          |                                 |

#### ○京都府アドバイザー事業

- ・サポートチームミーティング 5/19、6/14、6/29 8/24、9/13
- ・光が丘幼稚園、精華町商工会ほかと打合せ 6/6、6/27
- ・舞鶴プレス発表 8/8
- ・舞鶴打ち合わせ 6/19、6/27 7/14 7/25、9/1、9/8、9/29
- ・舞鶴幼稚園訪問 9/15、
- ・舞鶴赤レンガフェスタ参加 10/8,9



### 特定非営利活動法人きょうとグリーンファンド

事務局 〒600-8104

京都市下京区五条通高倉西入る万寿寺町143

いづつビル6F (火～金 13:00～17:00)

TEL/FAX 075-352-9150

E-mail grifan@h7.dion.ne.jp

ホームページ <http://www.h3.dion.ne.jp/~kyoto-gf>

